

# 物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

## 事例番号836

発生場所	廊下	精神・意識障害の有無	有	リスク A. 患者による使い方・置き方のリスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所 (その他)	非常口			
関連したもの	ドア	発生内容の分類	自殺、離院・徘徊、その他療養上の世話	

**発生内容** 非常扉のロックを解除しバルコニーへ脱出

**概要** 21：30巡視中の警備員が10階の病棟で非常扉の鍵カバーが外れていることに気づき、バルコニーを確認したところ端で人がうずくまっているところを発見した。警備員が声をかけると、患者は病室に戻った。非常扉の鍵はカバーを外してレバーを回すと解錠でき、患者自身が解錠して外に出ていた。患者の日常動作に制限はなかった。

**要因** 非常口は、鍵を用いることなく解錠でき、解錠方法を見やすい場所に表示する必要がある。非常口はスタッフステーションから離れた廊下の奥にあり、出入りがあっても気づきにくい。解錠を通知/察知するシステムがない。

**対策**

- ・非常口の鍵カバーに、封印テープを貼る。
- ・扉の開放を検知する防犯アラームの設置する。
- ・防犯アラーム本体のスイッチでON/OFFが操作可能なため、スイッチの上をテープで覆う。巡視時に剥がれていないか点検を行う。
- ・毎日の巡視で、鍵カバーの封印テープ、防犯アラームのテープが剥がれていないか、点検を行う。
- ・毎月の巡視で、扉を開けて防犯アラームを鳴らし、電池切れがないことを確認する。

**参照**

			
非常口鍵の開錠方法（誰でも開錠できるように説明書き）	非常口鍵カバーの	スタッフステーションから離れた非常口	防犯アラーム（遠いスタッフステーションにも聞こえる大きな警報音）